

平成28年度 小松市の予算について

当初予算は、日本一「おもいっしょい・たくましい・にこちよい」まち、「はつらつ」と躍動するひととまちづくりのレベルが一段と高まるよう、共創とひとづくりを原動力として、NEXT10年ビジョンが示す「新たなライフスタイルへの変革」と「まちのブランド力向上」を目指します。

問い合わせ 財政課 ☎24・8144

平成28年度の予算が決まりました

一般会計	423億6,000万円	(対前年比4.2%増)
特別会計	337億2,400万円	(対前年比3.3%増)
企業会計	215億7,300万円	(対前年比5.9%増)
総額	976億5,700万円	(対前年比4.2%増)

特別会計 国民健康保険など特定の事業を行うために、一般会計とは別に保険料などの収入で運営する会計

会計名	予算額	対前年比	平成28年度予算の主な特徴
国民健康保険事業	125億3,100万円	▲3.5%	保険税4年連続据え置き、賦課限度額81万円から85万円へ、法定軽減措置(5割軽減・2割軽減)の拡充
簡易水道事業	3,620万円	▲10.2%	企業会計への移行に向けた準備
農業集落排水事業	7億280万円	20.5%	那谷地区施設整備、企業会計への移行に向けた準備
介護保険事業	95億6,900万円	0.8%	こまつ認知症トータルサポート「ほっとけん」
公債管理	87億5,300万円	6.5%	借金(市債)を一般会計から分離して適正に管理
工業団地造成事業	8億5,900万円	662.2%	正蓮寺エリア団地造成
後期高齢者医療	12億7,300万円	3.3%	法定軽減措置(5割軽減・2割軽減)の拡充
合計	337億2,400万円	3.3%	

企業会計 病院や上下水道などの料金収入で、民間企業のように事業収益で運営する会計

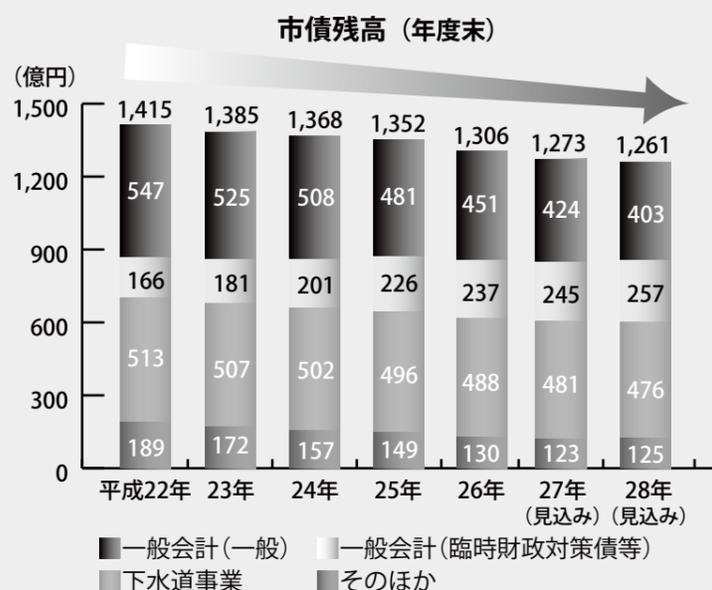
会計名	予算額	対前年比	平成28年度予算の主な特徴
水道事業	30億9,260万円	▲0.2%	水資源活用調査 配水施設拡張(産業団地関連等実施設計、改良工事)
公共下水道事業	92億6,940万円	12.1%	浸水対策：九竜橋川ポンプ場増設工事 水質保全：中央浄化センター水処理1系改築
病院事業	92億1,100万円	2.3%	ガンマカメラなど高度医療機器の更新
合計	215億7,300万円	5.9%	

財政の健全化

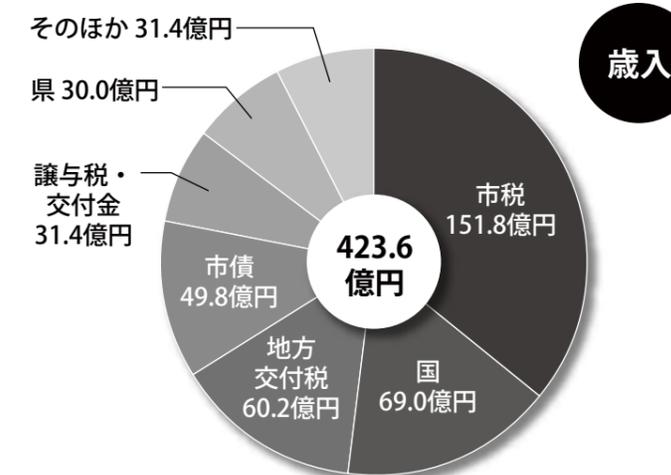
市の借金(市債)の残高は、市債発行の抑制や繰上返済を行ったことなどにより、着実に減少に転じています。平成27年度末の残高は、前年度より約33億円改善し、全会計の残高は約1,273億円となる見込みです。

NEXT10年ビジョンでは平成37年度末に市債残高を、平成26年度末残高に対して「1,000億円-a」を目標としており、今後も将来負担の軽減に努めます。

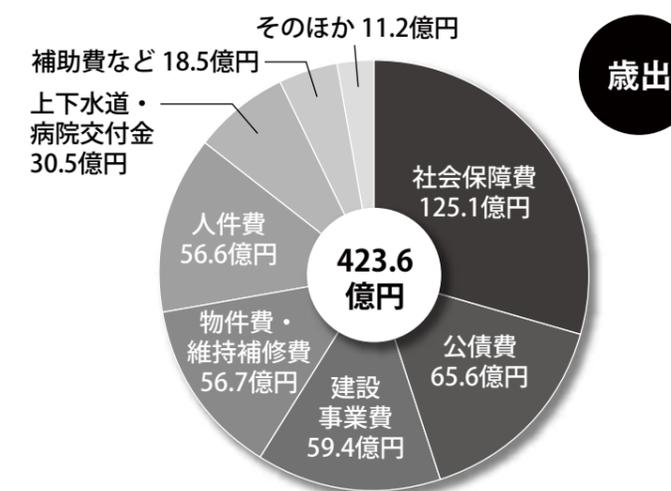
※臨時財政対策債：本来、国から地方交付税としてもらえるはずのお金について、国の予算不足の穴埋めとして市が発行する借金。



一般会計 福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など市の基本的な仕事をする会計



市税は、法人市民税の減収が見込まれ対前年比6.2億円減。地方消費税交付金は、堅調な消費動向に伴い対前年比2.9億円増。



児童運営費(私立の認定こども園 21園→26園)の増加やこども医療費の現物給付方式の通年化など社会保障費が対前年比10.7億円増。建設事業費は、(仮称)エコロジーパークこまつ・クリーンセンター建設など暮らしに必要なインフラ整備のため対前年比5.5億円増。

3 日本一「こちよい」まちに



■いきいきシニアが社会で大活躍

- せせらぎの郷を里山健康学校としてリニューアル **3億6,800万円**
- がん検診の自己負担額軽減(約3割→約1割)など **1億1,000万円**
- 認知症施策として、こまつ認知症トータルサポート「ほっとけん」の推進 **1,160万円**
- 3世代などの定住促進、結婚生活スタートアップ支援(マルB作戦) **7,180万円**

■地域の絆とやさしさで、家族みんなが安全・安心

- 心身障がい者医療費の助成拡充(身体障がい者3級全員対象へ) **2億7,850万円**
- 南部地区の予防先進拠点「(仮称)南部いきいきオアシス」整備(栗津診療所内) **2,800万円**

■みんなで子宝を喜び、育み、子どもたちの笑い声があふれるまち

- 児童・生徒の通学路の安全対策を計画的に実施 **5,300万円**
- 放課後児童クラブの第3子以降の利用料無料化 **480万円**

■美しい花の彩り、清らかな水辺、豊かな里山

- こまつフォレスト協議会による森林振興計画策定と里山森林資源の保全 **360万円**
- 全国植樹祭メモリアル「スマイル木場潟2016」の開催(5月8日) **170万円**

4 日本一「はつらつ」としたひととまちに



■「智仁勇」をモットーに、大好きな学校で元気に楽しく学ぶ子どもたち

- 未来を見据えた教育戦略の構築 **350万円**
- 国の補正予算を活用した学校校舎・体育館のリニューアル **1億100万円【3月補正】**

■世界とふるさとで活躍するグローバル人材と技術の育成

- 公立4年制大学開学に向けた認可申請や各キャンパスの改修など **8,200万円**
- 多言語案内表示など外国人来訪者受け入れに係る施設改修支援など **550万円**

■地域コミュニティの活力向上

- 「わがまち環境整備助成金」の拡充(町道整備、バス停整備の追加など) **2,400万円**
- 市民センターの特別集会施設・老人福祉施設などのリニューアル(～平成29年) **1億6,330万円**

5 10年後の素敵なこまつをめざして

■たくましい財政、市民から信頼される市役所へ

- 将来負担軽減のため借金(市債)の繰上償還実施 **1億円【3月補正】**

■広域連携を加速

- 県及び全市町による「ほっと石川観光プラン推進ファンド(仮称)」造成の市負担分 **4億4,500万円**
- 加賀地域連携推進会議による地域プロモーションや観光タクシー運行 **480万円**

10年ビジョンからNEXTへ

～共創とひとづくりを原動力に～

1 日本一「おもしろい」まちに

■人びとが集い、行き交う小松駅周辺エリア

- 北陸新幹線金沢～敦賀間の建設負担金 **2億6,020万円**
- 小松駅南ブロック学びのゾーンなどへの建設助成 **8,000万円**

■アクセス向上、世界が広がる大交流へ

- 市道龍助町九竜橋線の無電柱化(龍助町～西町) **2,760万円**
- 向本折大橋の耐震化工事(～平成29年) **2億850万円**

2 日本一「たくましい」まちに

■日本でも秀でた「たくましいものづくり」のまちに

- 正蓮寺エリアの産業団地造成 **8億5,790万円**
- 創エネルギー設備への支援など企業立地助成制度の拡充 **1億2,000万円**
- 6次産業化、海外販路拡大、インバウンドなどの経営モデルチェンジの支援拡充 **2,000万円**

■世界を舞台に「こまつブランド」を展開

- 曳山250年記念(大歌舞伎公演、九谷焼モニュメント制作) **1,800万円【3月補正】**
- 小松とまと・お米の商品化・販路拡大 **300万円**
- 「珠玉と石の文化」の魅力発信 **100万円**

■女性の活躍で、まちがやさしく、明るく、そして美しく

- 「女性の活躍とワーク・ライフ・バランスを考える協議会」によるワーク・ライフ・バランスの推進など **460万円**

■まちに、ひとに、地球にやさしい「スマートシティ」に

- (仮称)エコロジーパークこまつ・クリーンセンター建設(平成30年7月稼働予定) **9億7,930万円**
- ごみダイエット袋導入(10月～)によるごみ減量とリサイクルの推進 **4,150万円**
- 下水道の水質保全対策として、中央浄化センター水処理1系改築(～平成30年) **11億8,000万円**

■ICTでもっと便利、もっと安心、もっと楽しいスマートエンジョイライフ

- 観光地のバス停整備(3カ所)、ICTを活用したバスシステムの企画 **340万円**
- 介護・後期高齢者保険料のコンビニ納付導入 **600万円**
- Wi-Fiスポットを24カ所から31カ所へ整備拡大 **360万円**

